

最終ふきとり粉・成分表、安全シート

柳 瀬 株 式 会 社

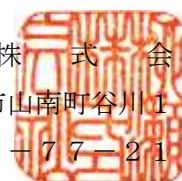
兵庫県丹波市山南町谷川1-385

TEL : 0795-77-2151

作成日 : 2008年5月30日

変更日 : 2023年9月19日

整理番号 : MSDS-Z049



危険有害性の要約

危険性 : 該当なし

有害性 : 該当なし

環境影響 : 該当なし

[GHS 分類] (構成純物質について)

該当なし

[GHS ラベル要素] (構成純物質について)

該当なし

最終ふきとり粉

物質の特定	単一製品・混合物の区分	: 単一製品
	化学名	炭酸カルシウム (CALCIUM CARBONATE) 別名 炭カル: 炭酸石灰
	成分	含有量 (%)
	炭酸カルシウム	98.5%以上
	化学式又は構造式	$CaCO_3$
	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	化審法 1-122 安衛法 -
	CAS番号	NO. 471-34-1
	危険有害成分・不純物	特になし
危険有害性の要約	最重要危険有害性	: 特になし
	有害性	: 特になし
	環境影響	: 特になし
	物理的及び科学的危険性	: 特になし
	特定の危険有害性	: 特になし
	主要な徴候	: 特になし
	分類の名称	: 分類基準に該当しない (分類基準は日本方式)
	想定される非常事態の概要	: 特になし

<p>火災時の処置</p>	<p>消火剤 : 一般的な消火剤で可。(不燃性の為、自燃性はなし)</p> <p>消火方法 : 水で可 (825℃で分離し炭酸ガスを発生する) 周辺の火災時、①一般火災の消火方法による。 ②注水は飛散防止に配慮する。 ③防災活動に無関係な人を遠ざける。</p> <p>火災時の特定危険有害性 特になし (酸性域で炭酸ガスを発生する)</p> <p>消火を行う者の保護 防災服、呼吸用保護具等を着用する。</p>
<p>応急処置</p>	<p>目に入った場合 目をこすらず、多量の水で直ちに眼を洗い流す。必要に応じて医師の手当を受ける。</p> <p>皮膚に付いた場合 多量の水かシャワーで皮膚を洗い流す。異物感がある場合は医師の診断を受ける。</p> <p>吸入した場合 きれいな水でうがいをする。新鮮な空気のところに行き、安静にする。 多量の場合は、医師の診断を受ける。</p> <p>飲み込んだ場合 口をすすぐ。水を飲み吐き出す。 多量の場合は、医師の診断を受ける。</p> <p>最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報 : 特になし</p> <p>応急措置をする者の保護 : 特になし</p> <p>医師に対する特別注意事項 : 特になし</p>
<p>暴露防止措置</p>	<p>管理濃度 労働安全衛生法 (1995) 2. 9 mg / m³ 日本産業衛生学会 (2000) 許容濃度勧告値</p> <p>第2種粉塵 吸入性粉塵 1 mg / m³ 総粉塵 4 mg / m³</p> <p>ACGIH (2001) 作業環境許容濃度の時間荷重平均値 TLV-TWA 10 mg / m³</p> <p>設備対策 換気をよくし、粉塵の飛散を防止する。 発塵の多い作業形態の時は、局所排気装置の設置、設備の密閉化若しくは集塵装置の設置。又、全体換気を適正に行う事が望ましい。</p> <p>保護具 呼吸器用の保護具 : 防塵マスク (規格適合品) を着用する。 目の保護具 : 保護眼鏡を着用する。 手の保護具 : 保護手袋を着用する。 皮膚・身体の保護具 : 保護衣を着用する。 適切は衛生対策 : 作業中は飲食、喫煙をしない。</p>

<p>物理／化学的性質</p>	<p>外 観 等 : 粉体 白色 無味無臭</p> <p>沸点／範囲 : 1440℃</p> <p>融点／範囲 : 825℃</p> <p>分解温度 : 825℃ 分解して二酸化炭素を放出して酸化カルシウムになる。</p> <p>蒸 気 圧 : 知見なし</p> <p>溶 解 性 : 水に難溶 (0.0012%・20℃)、酸に可溶</p> <p>蒸気密度 : 知見なし</p> <p>蒸気濃度 : 知見なし</p> <p>密 度 : 2.75</p> <p>p H : 9.5</p> <p>分 子 量 : 100.09</p>
<p>危険性情報</p>	<p>引火点 : なし (不燃物)</p> <p>発火性 : 自然発火性 なし。水との反応性 なし。</p> <p>自己反応性 : なし</p> <p>強酸と反応して二酸化炭素を発生する。 アルミニウム、アンモニウム塩と反応する。</p> <p>避けるべき物質 : なし</p> <p>安定性・反応性 : 通常条件下では安定。</p> <p>危険有害な分解生成物 : 酸化カルシウム</p> <p>熱的性質 : 825℃で酸化カルシウムと二酸化炭素に分解しガスを発生する。</p>
<p>取り扱い及び保管上の注意</p>	<p>取り扱い</p> <p>労働安全衛生法等の関連法規に準拠して作業をする。</p> <p>適切な保護具を着用する。</p> <p>屋内作業の場合、適切な排気装置を設置して、管理濃度以下に保つ。</p> <p>粉塵が飛散しないように注意し、みだりに粉塵を発生させない。</p> <p>不燃性であるが、強酸と反応して二酸化炭素を発生する。</p> <p>酸、アルミニウム、アンモニウム塩から離しておく。</p> <p>保 管</p> <p>吸湿、水漏れに注意し、湿気の少ない場所にパレット積みで保管する。</p> <p>容器入りの場合、容器（主に紙袋）が破損しないよう丁寧に取り扱う。</p> <p>又、積み重ねをする場合は、荷崩れに注意をする。</p>
<p>漏出時の措置</p>	<p>人体に対する注意事項 : 作業の際には、防塵マスク・防塵メガネ・保護手袋・保護具を着用する。</p> <p>環境に対する注意事項 : 公共用水域に流さないように留意する。</p> <p>除去方法 : 床面などにこぼれた場合は、濡れたウエスやモップ等で拭き集めたり、真空掃除機等により吸い取るなどの飛散防止措置を行い、空容器に回収する</p> <p>二次災害の防止策 : 積み重ねの場合は、荷崩れに注意する。</p>

有害性情報	<p>人間にとってカルシウムは必須元素であり、カルシウムを多量に摂取したことによるカルシウム過剰性や健康への有害影響は現在まで報告されていない。又、暴露したときの健康への影響も同様である。(人についての症例、疫学的情報を含む)</p> <p>急性毒性 : 経口 ラットLD₅₀ 6,450mg/kg (50%致死量等を含む)</p> <p>局所効果 : 刺激することがある。 (皮膚・目など)</p> <p>感作性 : 知見なし</p> <p>慢性毒性 : 知見なし</p> <p>長期毒性 : 知見なし</p> <p>がん原性 : 知見なし</p> <p>変異原性 : 知見なし</p> <p>催奇形性 : 知見なし</p> <p>生殖毒性 : 知見なし</p> <p>その他 : 酸性水に溶解二酸化炭素を発生する。 825℃で分解し二酸化炭素を発生する。</p> <p>皮膚腐食性 : 知見なし</p> <p>亜急性毒性 : 知見なし</p>
環境影響情報	<p>移動性 : 知見なし</p> <p>残留性 : 知見なし</p> <p>分解性 : 知見なし</p> <p>蓄積性 : 知見なし</p> <p>魚毒性 : 知見なし</p> <p>その他 : なし</p>
廃棄上の注意	<p>取扱い及び保管上の注意の項の記載による。 大量の場合は産業廃棄物処理業者に委託する。</p>
輸送上の注意	<p>取扱い及び保管上の注意の項の記載による。 吸湿・水濡れに注意し、容器（主に紙袋）入りの場合は、落下や破損しないように丁寧に積み込み荷崩れの防止を確実に行う。 又、雨漏れ防止用に必ず防水シートをかける。</p> <p>国際規制 : 指定なし</p> <p>国連分類 : 指定なし</p> <p>国連番号 : 指定なし</p> <p>国内規制 : 指定なし</p> <p>輸出入統計品目番号 : 2836.50-000</p>
適用法令	<p>労働安全衛生法・粉塵障害防止規則・第二条 別表第一及び別表第二作業環境評価基準 別表</p>
その他の情報	<p>改正労働安全衛生法 : 該当物質なし</p> <p>化学物質管理促進法（P R T R法） : 該当物質なし</p> <p>毒物及び劇物取締法 : 該当物質なし</p> <p>火薬類取締法 : 該当物質なし</p> <p>高圧ガス保安法 : 該当物質なし</p> <p>消防法 : 該当物質なし</p> <p>船舶安全法 : 該当物質なし</p> <p>航空法 : 該当物質なし</p>

記載内容についての 注意	<p>記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。</p> <p>また、注意事項は、通常の実用を対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。</p> <p>尚、記載内容は情報の提供であり、安全保障の証明書ではありません。</p>
-----------------	--